

# 大豆づくり情報

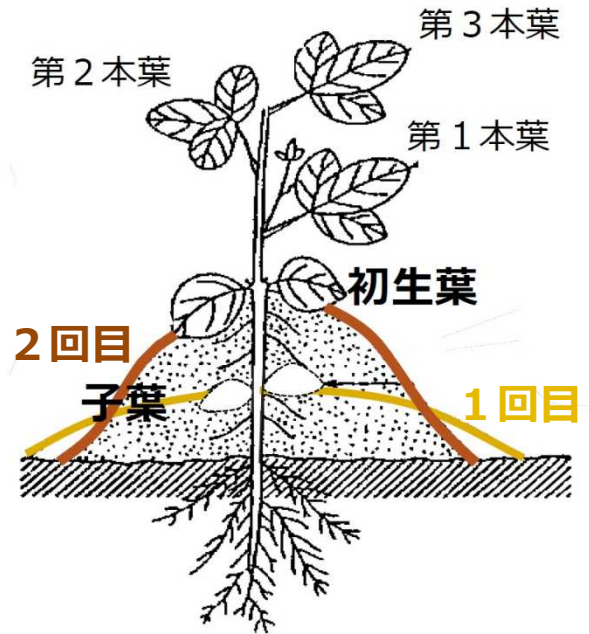
第 2 号

令和 3 年 7 月 2 日  
村山 総合支庁  
農業技術普及課

## 適期の中耕培土で、生育量の確保を!!

### ポイント① 中耕培土

- 中耕培土には、倒伏防止、排水改善、不定根による養分吸収、雑草抑制などの効果があります。
- **1 回目**は、**本葉 3 葉期**に**子葉**が隠れる高さまで行います。
- **2 回目**は、**本葉 6 ~ 7 葉期**に**初生葉**が隠れる高さまで行います。
- 土を寄せる高さをあまり高くすると、収穫時の汚損粒の発生につながるので高さは **15 cm 程度まで**としましょう。
- 根や茎葉部の損傷による開花への影響を考慮し、遅くとも**開花 1 週間前 (7 月下旬) まで**には終わるようにしましょう。



### ポイント② 追肥

- 2 回目の中耕培土時に追肥を行うと、着莢数及び百粒重が増加し、収量向上の効果があります。
- 施用量は、地力に応じて加減しましょう。

#### 追肥量の目安

被覆肥料 (尿素 70 日タイプ)  
窒素成分で **7 ~ 8 kg/10a**

### ポイント③ 雑草防除

- 中耕培土後に発生する雑草に対しては、雑草の生育初期に茎葉処理除草剤を散布しましょう。
- **帰化アサガオ類**などの難防除雑草の発生が見られます。  
難防除雑草が蔓延すると、つるが大豆を覆って減収するだけでなく、収穫時にコンバインに巻き付き作業効率が悪化、汚損粒の発生原因となります。**つるになる前に抜き取り**、圃場に放置せず処分しましょう。

### 農作業事故防止！作業は心と身体にゆとりを持って！

- 熱中症に注意！適度な休憩と水分・塩分補給を忘れずに！
- 機械作業を中断する時は必ずエンジンを止める！
- 草刈機使用時は必ず防護めがねを着用し、周囲を確認！